

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 ウイズアイ

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

貴重児・年子・双子を家庭で育てている在宅主婦の為の育児負担軽減事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

核家族が進み、母親達は孤立し、一人で抱え込んで子育てしている現状があります。祖父母は働いており協力は得にくい。専業主婦の子育ては、年中無休・無給であり、1時間700円のファミリーサポートは高く利用しにくい現状があります。保育園の一時保育は、決まった先生・決まった友達という訳にはいかず、子どもの安心の場とは言い難い。高齢出産の親が増えている。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

開催回数:火・水・木・金曜日 全 110回 開催場所:下宿地域市民センター あいあい 等

定員:火・水・木・金コース 10組 利用時間:10時~13時 保育士:5名

月謝:週2は9000円

対象:在宅で二人以上育てている家庭の入園前の子ども。子どもと出会うのに長い時間を要した家庭の子ども。(いわゆる貴重児)1歳児:2歳児の異年齢合同保育(外遊びが主・製作・手遊び・読み聞かせ等)

弟妹の預かりは、希望に応じて対応。定員2名 年に8回:親子で楽しむイベント・親子交流の日

年に3回:親のリフレッシュ講座(フラワーアレンジメントやトルペイント等)

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

在宅主婦の育児軽減事業という事で、二人目妊娠・出産の家庭にも利用を呼びかけた。年子を育てている家庭で二人以上の子を育てている家庭の利用が多かった。貴重児は、親たちのグループワークにも重点的に取り組み、子どもは別室保育で過ごし異年齢遊びが出来るよう工夫。中々一人っ子を預けるという事には抵抗があると感じたので、グループワークによる精神的なケア、心理的なアプローチを試みるなかで、子ども達にも、楽しい経験となるよう配慮。双子を育てている家庭の親を対象に、保育付きのお食事会なども企画し、ゆっくりママ達がお喋りしながら交流出来るお楽しみ会的な催しを企画。双子を妊娠している方の参加もあり、また他市からの参加も多かった。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

いわゆる貴重児の親達や、多胎児を育てている親たちの自助グループの活性化に繋がり、母親たちのネットワークの拡大につながった。利用日以外の日にお互いに預け合い助け合える関係が築け、孤立感が無くなり、大変な思いを共有しあう仲間と出会い、笑顔のママが多くなった姿が見られる。赤ちゃんの預かりは、あまり多くは無かったが、曜日を決めず希望に応じて対応し、同じ0歳児を育てている親同士のネットワークが出来、上の子を保育して貰い、赤ちゃんと親との二人だけの時間を過ごす時間を提供できた事は、親子共に良かったという声が聴かれた。また子ども達の成長・発達の手応えが充分に感じられ、定期的な母子分離による小集団保育事業の効果は大きいと感じた。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

外遊び お散歩

全員集合記念撮影



親子の日



親子で一緒に交流

母子分離

定期一時保育の保育室での読み聞かせ





## リフレッシュ講座

### フラワーアレンジメント



### トールペイント



### スイーツデコ(ハロウィン)講座



### 双子の赤ちゃんの預かり

